

認証評価結果に対する改善報告書

令和元年7月20日

1. 大学名：北翔大学
2. 認証評価実施年度：平成29年度
3. 「改善を要する点」の内容
基準項目：2-1 学生の受入れ

○生涯スポーツ学部健康福祉学科、教育文化学部芸術学科の収容定員充足率が、0.7倍未満であり、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果
基準項目2-1について

平成30(2018)年4月から全学的組織である将来構想検討委員会を立ち上げ、各学科の定員確保、将来構想についての検討を実施した。【資料2-1-1】健康福祉学科ならびに芸術学科の改善状況及び結果は以下に記載の通りである。

(1)健康福祉学科

1)入学定員充足率は平成29(2017)年度46.7%であったが、改善に向けた取り組みにより平成30(2018)年度は70.0%と上昇、収容定員充足率も62%に回復した。しかし、令和元(2019)年度は再び60%を下回った。【表2-1-1】

平成30(2018)年4月から全学的組織である将来構想検討委員会主導のもと、学科の定員確保、将来構想についての検討を実施して、後述の通り2コース制とした。健康づくり分野、介護福祉分野、社会福祉分野の教員が、各分野の課題を検討し、学科全体としての将来構想について検討を行った。その結果、カリキュラム改編とコース制の導入を行い、健康福祉学科の教育内容の充実と広報戦略を確定させた。

令和2(2020)年度からのコース制と健康づくりの指導者や公務員への就職の可能性についての広報を徹底して行い、福祉以外の健康運動等に関心のある高校生を新たなターゲット層として獲得するよう積極的に取り組んでいる。教育内容の質的向上と効果的な広報を実施し、学科一丸となって定員確保を目指している状況である。

2)カリキュラム改編

平成30(2018)年度より学科専門科目のカリキュラムを以下のように一部改編し、教育内容の充実・質的向上に努めた。【資料2-1-2】

- ・1年次に福祉系専門科目を増やし、福祉を目指す入学生が早期に専門科目を学べるようにし、学生の満足度を高めた。
- ・令和2(2020)年度より介護職員初任者研修の講座を新規に学科カリキュラムとして設

け、介護福祉士の国家資格までは希望しない学生に、介護の基礎的な学びと資格を取得し、将来に活かせるようにした（講座開設は令和元(2019)年中に北海道へ申請予定）。

- ・健康運動実践指導者の指定科目を資格認定団体の要件を満たしつつも簡素化し、より取得しやすい科目構成にした。
- ・公認スポーツ指導者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲをはじめとした日本スポーツ協会が認定するスポーツ系の資格付与を廃止した。学生のニーズにそぐわないこと、カリキュラムの過密さの改善がその事由である。

3) 2 コース制の実施

令和 2(2020)年度より健康・介護・社会福祉の 3 領域を総合的に学べる利点はそのままだに、健康運動と介護福祉を学ぶ「健康・介護福祉コース」と社会福祉を学ぶ「社会福祉コース」の 2 コースとする。【資料 2-1-3】【資料 2-1-4】コース制の導入は、以下の利点がある。

- ・健康づくり—介護予防—介護福祉というルートを明確に示すことができ、「健康」領域を学ぶ意義を理解しやすくなること。
- ・入学後早期にコースの選択を行うことで、学生は自分が学ぶ専門を早い段階から意識でき、将来に向けた学びへの動機づけを行うことができること。
- ・介護福祉士と社会福祉士の資格を分離したことで、健康運動実践指導者と介護福祉士の両資格の指定科目を無理なく時間割配置でき、資格取得がしやすくなること。

以上は「健康+福祉」を学ぶ利点を強化したものであり、在学生の満足度を高めるとともに、高校生に十分に周知することで本学科への志望者を増やすことが期待できる。

現在、新しい広報ツールを作成し、新しい健康福祉学科の独自性とこれからの社会における意義を PR し、入学者増加に努めている。

4) 学生の実践力の向上を目指した地域貢献事業の強化（子ども食堂・地域食堂）

学生の実践力の向上を目指し、平成 29(2017)年 12 月から、「子ども食堂・地域食堂」を実施している。平成 30(2018)年度からは 1 年生の基礎教育セミナーに位置づけ全 13 回実施、令和元(2019)年度は 14 回予定している。【資料 2-1-5】これにより、学生が様々な地域住民と交流し、対人援助の現場で必要とされる実践力を習得することができ、教育効果が大きい。

5) 介護福祉士・社会福祉士国家試験合格に向けての支援強化

福祉を目指す高校生にとって、国家試験の合格率は進路選択の重要な要素である。健康福祉学科でも平成 26(2014)年度学科創設時より、教育内容を充実させ、学生が介護福祉士国家試験と社会福祉士国家試験に合格するための支援を行ってきた。

専任教員による個別指導、受験対策合宿、対策講座など、合格に向けての様々な支援の実施により、介護福祉士国家試験は平成 29(2017)年度・平成 30(2018)年度ともに 100%の合格率と成果が見られた。社会福祉士国家試験は平成 29(2017)年度卒業生 53.8%（福祉系大学等総数全国平均 29.2%）と前年を大きく上回る好成績であり、平成 30(2018)年度も 38.5%（同 29.4%）と前年度よりも低下したが全国平均を上回ることが

できた。令和元(2019)年度は教員による個別指導を強化し、学生一人一人に合わせた学習指導を丁寧に行い、資格取得への意欲の維持・向上を図り、合格率の向上に努めている。【資料 2-1-6】

6) 広報活動の強化

定員を確保するため以下の広報活動を実施してきた。

- ・健康福祉学科が福祉の学科であることをより積極的に広報するため、学科リーフレット「ふくしのひと」(平成 29(2017)年度)、「ふくしのまなび」(平成 30(2018)年度)をシリーズで制作し、オープンキャンパスの学科相談来場者および全道高校並びに在学生出身校に送付し、周知に努めた。【資料 2-1-7】

- ・平成 30(2018)年度まで(平成 27(2015)年度より 4 年間) 継続して「北海道介護のしごと魅力アップ推進事業」の助成を受け、中高生向けに「介護のしごと 1 day チャレンジ」や「先進的高齢者施設見学バスツアー」を企画・実施し、介護のしごとについての啓発活動を実施した。【資料 2-1-8】

- ・平成 30(2018)年度より、運動スポーツ系に関心のある高校生向けのリーフレットを刷新し、新たな受験者層の獲得に努めた。【資料 2-1-9】

- ・介護福祉士国家試験・社会福祉士国家試験の結果などを掲載した「学科通信」を発行し、全道の高校へ送付した。【資料 2-1-10】

- ・生涯スポーツ学部における健康福祉学科の学びを明確にしたリーフレットを作成し、オープンキャンパスでの学部来場者へ説明を実施している。【資料 2-1-11】

- ・令和元(2019)年度は、令和 2(2020)年度からのコース制導入に伴い、これまで以上に積極的な広報を実施するため、広報用ポスターを作成し、全道の高校へ送付した。【資料 2-1-12】

- ・オープンキャンパスの実施方法を変更し、学科全体・コースの説明を全来場者へ説明する「学科説明会」を実施し、終了後には、参加者へのメッセージカードの配布を行っている。また、オープンキャンパス参加者へ事後フォローのための資料を送付した。

- ・高校生を対象としたニュースポーツイベントや、高校教員を対象としたバスツアーなどを実施し、健康福祉学科の広報活動に努める。【資料 2-1-13】

- ・北翔大学ホームページに学科からイベントなどの情報発信を随時行い、さらに令和元(2019)年度は各教員からも発信し、学科の魅力やゼミ活動なども積極的に情報発信するよう努めた。【資料 2-1-14】

(2) 芸術学科

1) 入学定員充足率は、受審年度以降、平成 30(2018)年度は 60.0%、令和元(2019)年度は 76.0%と改善がみられ、収容定員充足率も数パーセントずつ上昇している。【表 2-1-1】

2) 改善に至る状況と、今後の計画は以下の通りである。

高等学校との接点を多く設け、芸術学科の取り組みの周知に心がけた。また、多くのイベントを開催することによって、地域住民に対して存在の周知に努力を行った。

具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・インターネット等を利用した広報。【資料 2-1-15】
- ・学科通信の発行（第 21 号～第 25 号）。【資料 2-1-16】
- ・数多くのイベント開催（高等学校等への周知を心がけた）。【資料 2-1-17】
- ・オープンキャンパスにおける取り組みを重視してきた。①オープニングにおける映像、②芸術学科学生作品展示、③芸術学科全教員によるオープンキャンパスの参加等である。【資料 2-1-18】

なお、学科広報や教育内容の改善については、受審年度以降も継続的に話し合いを行い、令和元(2019)年より新たな取り組みを行っている。

教員の協力のもと、学生による広報活動(学生広報)を立ち上げ、twitter/ faceBook/ Instagram など学生目線で積極的に投稿している。また、学科独自のサイトも今後は学生広報によって再構築する予定である。【資料 2-1-19】

教育内容の改善に関しては令和 2(2020)年度入学生より、従前のゼミの枠組みを研究領域へ変更し、ゼミの内容や将来像等が見えやすい形に改編した。【資料 2-1-20】

教育内容の質的向上と効果的な広報を実施し、学科一丸となって定員確保の努力を続けている状況である

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

【表 2-1-1】 認証評価受審年度及び認証評価受審後の入学定員、収容定員、入学者数、在籍者数、入学定員充足率、収容定員充足率の推移

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
健康福祉学科	入学定員（人）	60	60	60
	入学者数（人）	28	42	34
	入学定員充足率（%）	46.7	70.0	56.7
	収容定員（人）	250	250	250
	在籍者数（人）	150	155	143
	収容定員充足率（%）	60.0	62.0	57.2
芸術学科	入学定員（人）	50	50	50
	入学者数（人）	33	30	38
	入学定員充足率（%）	66.0	60.0	76.0
	収容定員（人）	210	210	210
	在籍者数（人）	121	129	142
	収容定員充足率（%）	57.6	61.4	67.6

(1) 健康福祉学科

- 【資料 2-1-1】 将来構想検討委員会会議日程一覧
- 【資料 2-1-2】 カリキュラムの変更履歴
- 【資料 2-1-3】 広報リーフレット「2020 年度から健康福祉学科は新しく生まれ変わります」
- 【資料 2-1-4】 広報ポスター「食わず嫌いはもったいない」
- 【資料 2-1-5】 2019 年度子ども食堂・地域食堂実施予定
- 【資料 2-1-6】 2019 年度介護福祉士国家試験対策年間計画、社会福祉国家試験対策年間計画
- 【資料 2-1-7】 広報リーフレット「ふくしのひと」「ふくしのまなび」
- 【資料 2-1-8】 「北海道介護のしごと魅力アップ推進事業」平成 30 年度版報告書
- 【資料 2-1-9】 広報リーフレット「スポーツ×福祉」
- 【資料 2-1-10】 学科通信 2019 年 3 月、2019 年 5 月
- 【資料 2-1-11】 広報リーフレット「2020 年度から健康福祉学科は新しく生まれ変わります」 【資料 2-1-3】 と同じ
- 【資料 2-1-12】 広報ポスター「食わず嫌いはもったいない」【資料 2-1-4】 と同じ
- 【資料 2-1-13】 健康福祉学科 公開イベント「ホクリンピック」「高校教諭向け先進的高齢者施設見学バスツアー」チラシ
- 【資料 2-1-14】 学科ホームページ新着情報一覧

(2) 芸術学科

【資料 2-1-15】 インターネットを利用した学科広報

- ① 独自サイト：<https://www.hokusho-art.com>
- ② twitter：@hokushoart
- ③ facebook：hokushoArt
- ④ Instagram：hokushoart

【資料 2-1-16】 学科通信 第 21 号～第 25 号

【資料 2-1-17】 平成 30(2018)年度 芸術学科イベント（事業）一覧

【資料 2-1-18】 オープンキャンパスの取り組み(オープンキャンパス実施要領)

【資料 2-1-19】 学生による広報活動【資料 2-1-15】と同じ

【資料 2-1-20】 研究領域（大学案内必要部分データ添付）